



厚生労働省 三重労働局発表

平成 29 年 8 月 29 日(火)

担 当	厚生労働省三重労働局職業安定部
	職業安定課長 田中 秀治
	職業安定課長補佐 杉本 公紀
	地方労働市場情報官 上村ひろみ
	電話 059-226-2305

報道関係者 各位

「雇用情報モニター報告集計結果(平成 29 年度第 2・四半期)」

三重労働局では、県内企業・経営者団体等に雇用情報モニターを委嘱し、企業活動の実績と見通し、雇用動向等についての報告を、年 4 回（四半期毎）提出いただいております。

このたび、平成 29 年度第 2・四半期（29 年 7 月～9 月）実績見込み及び次期（29 年 10 月～12 月）見通しの集計結果を取りまとめましたので公表します。

調査結果 主な項目の概要

○ 受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が 29.6%で増加、「減少」が 13.0%で減少。D I（「増加」－「減少」）は 16.6。前期と比べ 11.1 ポイント上昇。次期見通しは 11.1 で下降予想。

○ 企業収益の実績見込みと今後の見通し

「増加」が 27.3%で増加、「減少」が 12.7%で減少。D I（「増加」－「減少」）は 14.6。前期と比べ 18.2 ポイント上昇。次期見通しは 3.7 で下降予想。

○ 稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が 25.9%で増加、「減少」が 11.1%で減少。D I（「増加」－「減少」）は 14.8。前期と比べ 3.7 ポイント上昇。次期見通しは 14.8 で横ばいの予想。

○ 設備投資の見込み

「ある」が 43.6%で 3.6 ポイント増加。「ない」は 36.4%で 3.6 ポイント減少。D I（「ある」－「ない」）は 7.2 で 7.2 ポイント増加。

○ 従業員の過不足判断

「過剰」が横ばい、「やや過剰」が減少、「不足」が増加、「やや不足」が増加。D I（「過剰」－「不足」）は▲36.3 となり、10.4 ポイント減少（不足判断が増加）。次期見通しは▲25.9 で「不足」判断は減少の予想。

○ 雇用調整の状況

実施事業所は 7 事業所（13.2%）で、前期の 6 事業所（11.8%）から増加。

○資料

別添 「平成 29 年度 雇用情報モニター報告集計」

○参考

- ・調査対象 地域経済にかかわりの深い企業の中から公共職業安定所長の推薦により労働局長が委嘱した、民間企業及び事業主団体
 - ・調査方法 調査票により、モニターから公共職業安定所長に郵送等により提出
 - ・調査時期 平成 29 年度第 2・四半期実績見込み及び次期（平成 29 年度 10 月～12 月）見通しについて
 - ・モニター内訳 建設業 2、製造業 44、小売業 5、サービス業等 4、事業主団体等 7
 - ・回答状況 民間企業 55 社、事業主団体等 7 団体
- （注）集計結果には、業種別等の偏りがあると思われるのでご了承ください。

平成29年度 雇用情報モニター報告集計

平成29年度 第2・四半期
三重労働局職業安定部職業安定課

29年度第1・四半期(29年4月～6月 以下前期)においては、多くの指標のD I(「増加」-「減少」)はプラスとなりましたが、29年度第2・四半期(29年7月～9月 以下今期)においても、多くの指標のD I(「増加」-「減少」)はプラスとなりました。

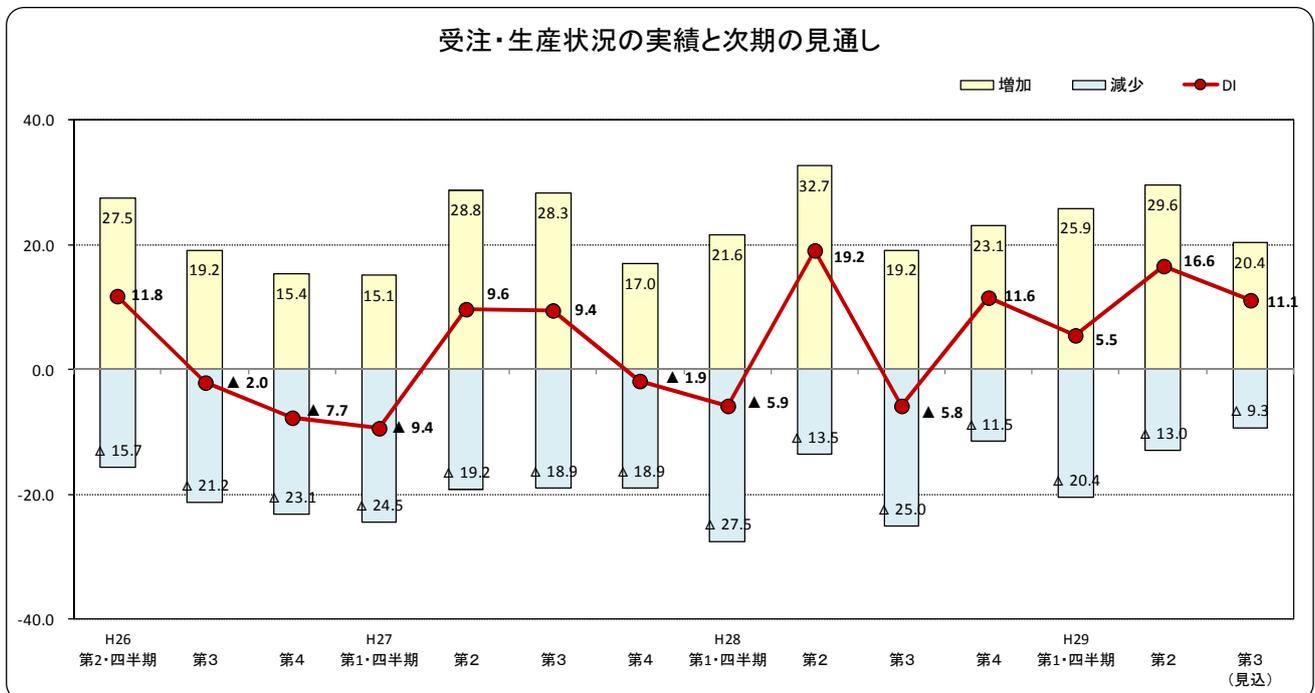
次期の予想においては、多くの指標で下降の見通しとなっています。

1. 受注・生産動向について

【受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の受注・生産状況では、「増加」が29.6%、「減少」が13.0%で、D I(「増加」-「減少」)は16.6となり、前期と比べ11.1ポイント上昇し、3期連続でプラスとなりました。

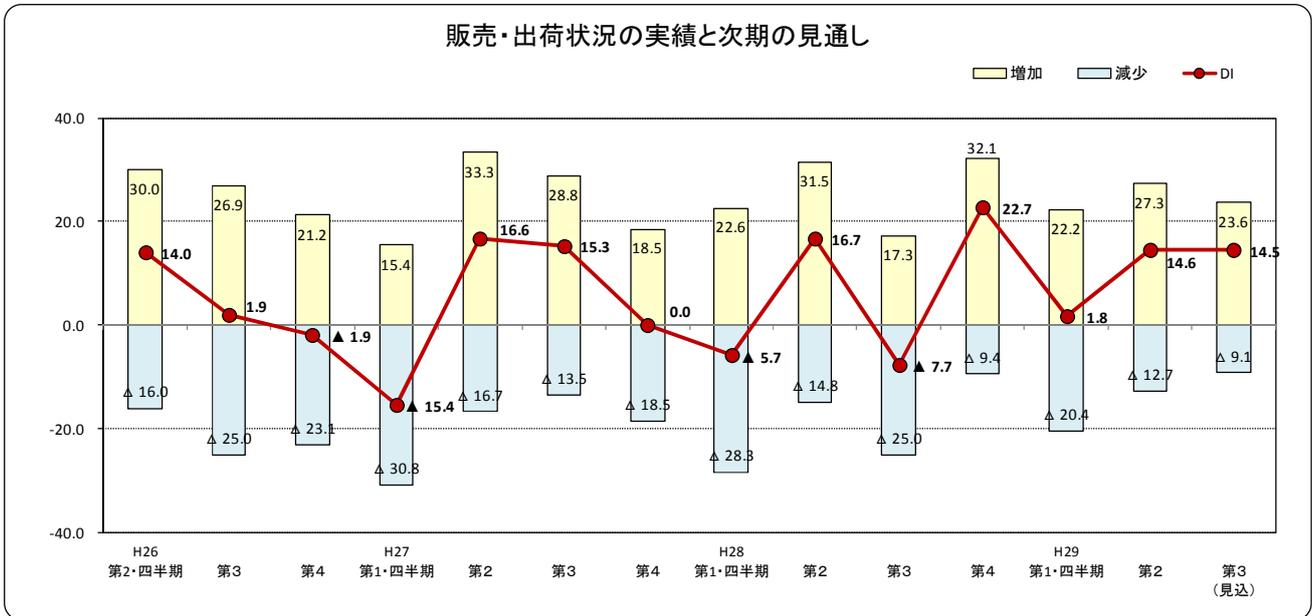
次期の見通しについては、D Iは11.1で、下降する予想となっています。



【販売・出荷状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の販売・出荷状況では、「増加」が27.3%、「減少」が12.7%で、D I（「増加」－「減少」）は14.6となり、前期と比べ12.8ポイント上昇し、3期連続でプラスとなりました。

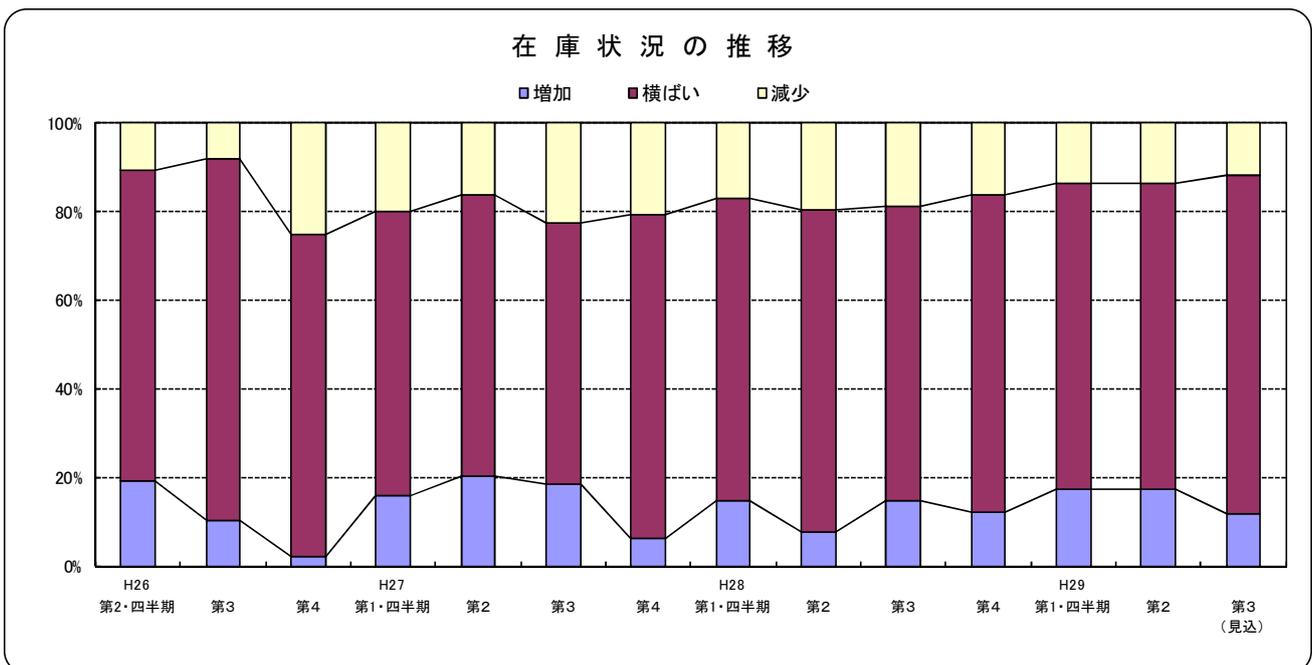
次期の見通しについては、D Iは14.5で、下降する予想となっています。



【在庫状況】

今期の在庫の状況についてみると、「増加」が横ばい、「減少」が横ばい、30期連続して「横ばい」が最も多くなりました。

次期の見通しについては、「横ばい」が増加し、「増加」が減少する予想となっています。

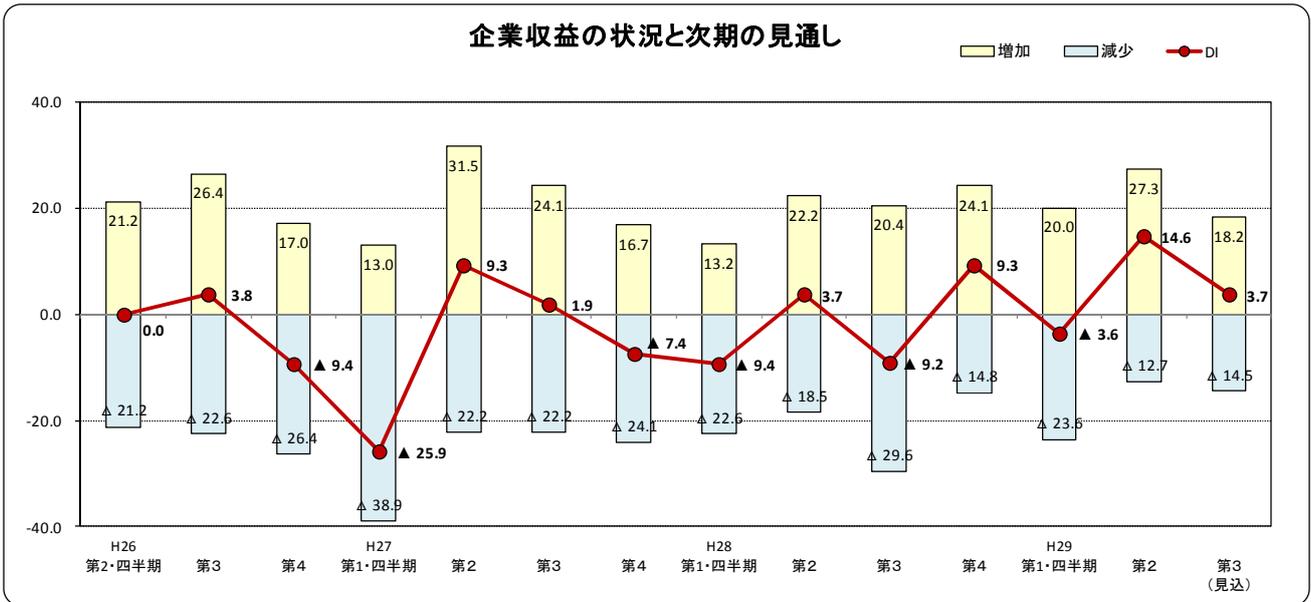


2. 企業活動の状況について

【企業収益の実績見込みと今後の見通し】

今期の企業収益の状況では、「増加」が27.3%、「減少」が12.7%で、D I（「増加」－「減少」）は14.6となり、前期と比べ18.2ポイント上昇し、2期ぶりにプラスとなりました。

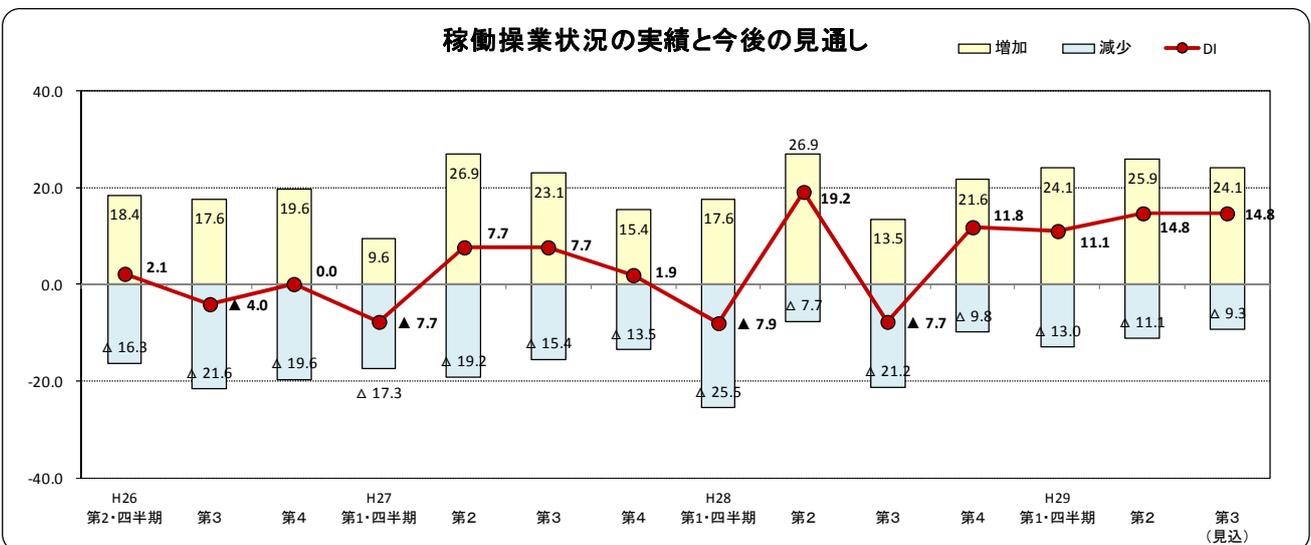
次期の見通しについては、D Iは3.7で、下降する予想となっています。



【稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し】

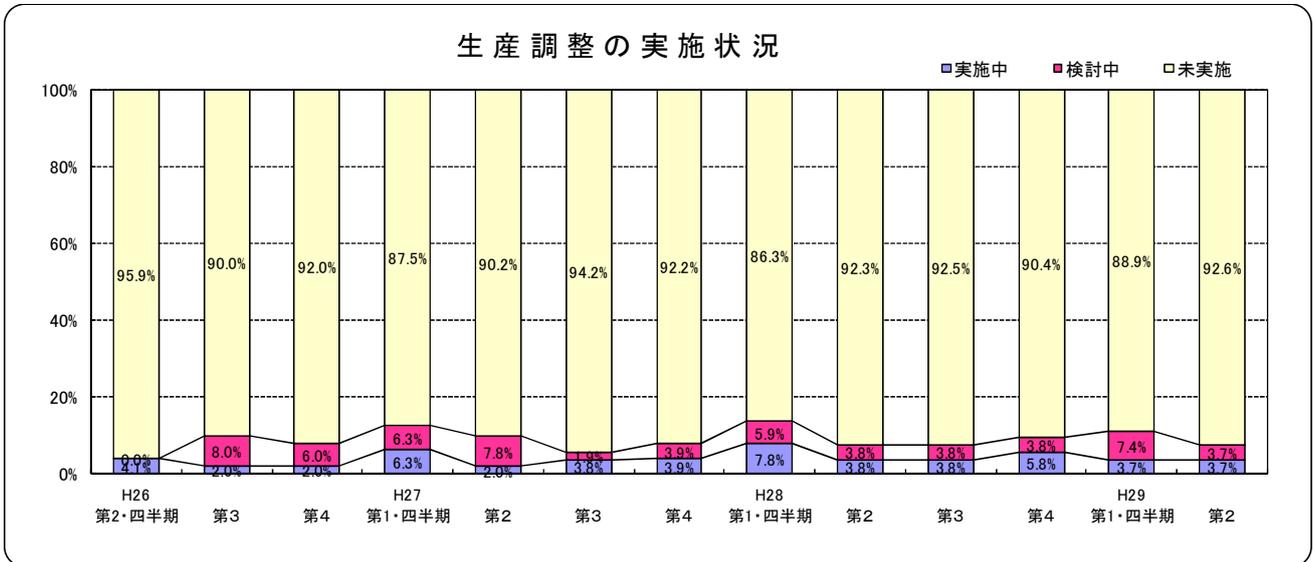
今期の稼働操業状況では、「増加」が25.9%、「減少」が11.1%で、D I（「増加」－「減少」）は14.8となり、前期と比べ3.7ポイント上昇し、3期連続でプラスとなりました。

次期の見通しについては、D Iは14.8で、横ばいの予想となっています。



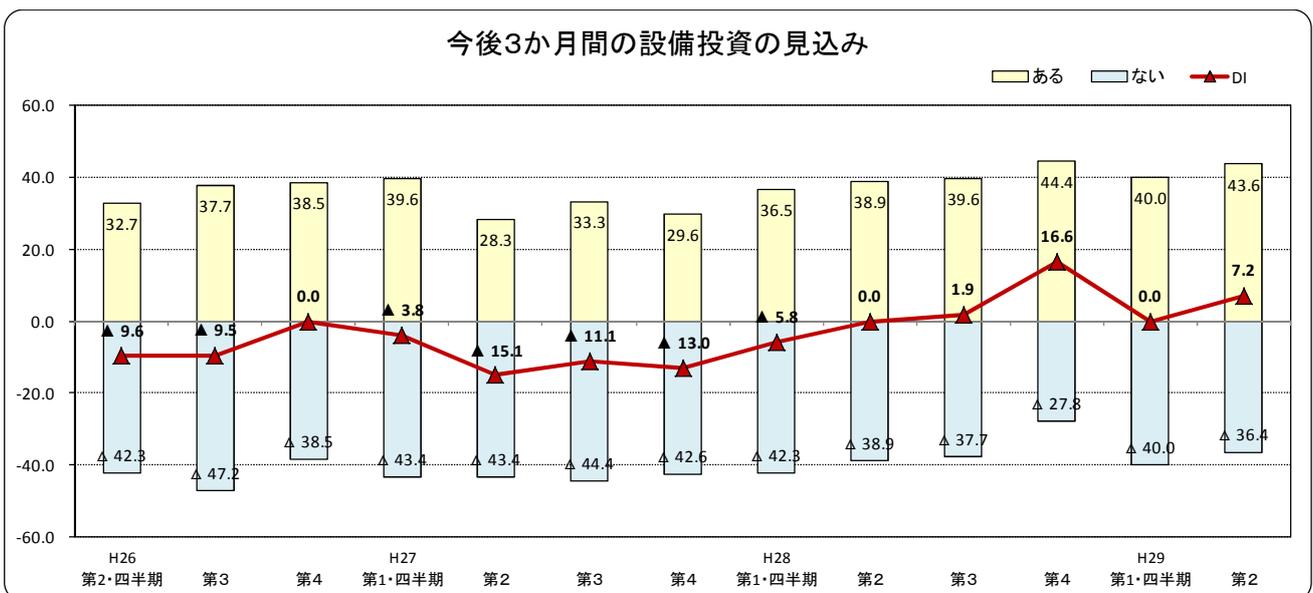
【生産調整の状況】

生産調整を「未実施」とした事業所は、今期は92.6%で前期と比べ3.7ポイント増加、「検討中」は3.7%で3.7ポイント減少、「実施中」は3.7%で前期と同率となりました。



【設備投資の見込み】

今後3か月間の設備投資の見込みでは、「ある」とする事業所の割合は43.6%で前期と比べ3.6ポイント増加、「ない」とする事業所の割合は36.4%で3.6ポイント減少、D I（「ある」-「ない」）は7.2で、前期より7.2ポイント増加しました。

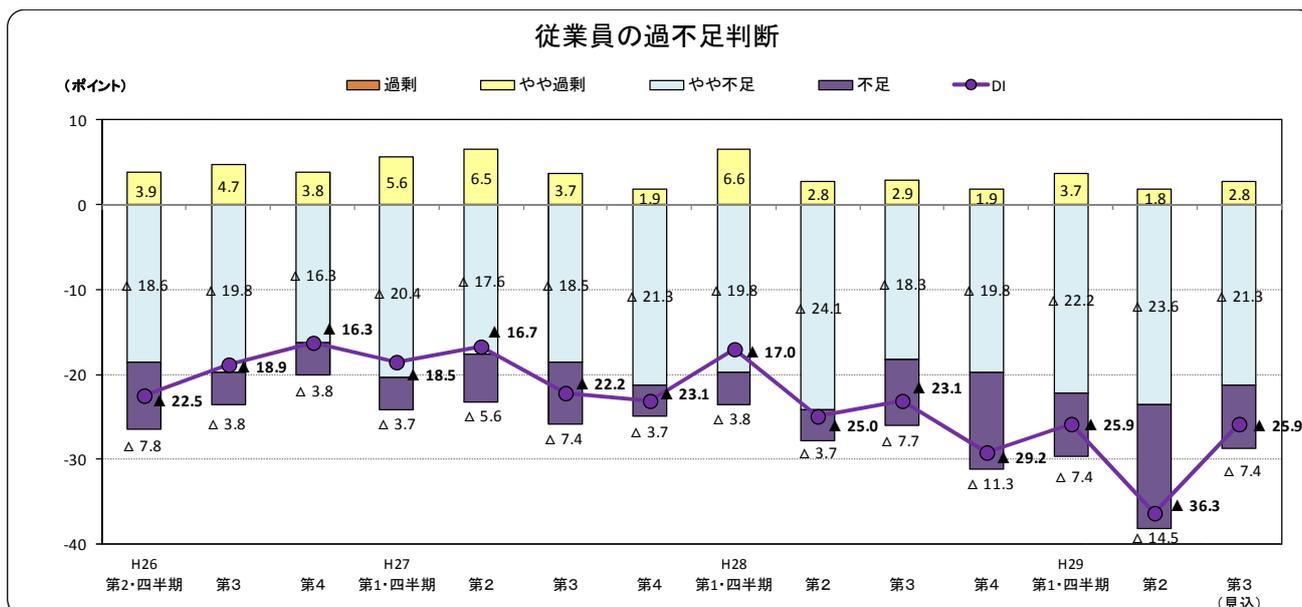


3. 雇用動向について

【従業員の過不足判断】

「過剰」は0.0ポイントで横ばい、「やや過剰」とする事業所は1.8ポイントで1.9ポイント減少、「不足」は14.5ポイントで7.1ポイント増加、「やや不足」とする事業所は23.6ポイントで1.4ポイント増加したため、D I（「過剰」－「不足」）は▲36.3となり、前期より10.4ポイント減少（不足判断が増加）し、18期連続で不足判断が過剰判断を上回りました。

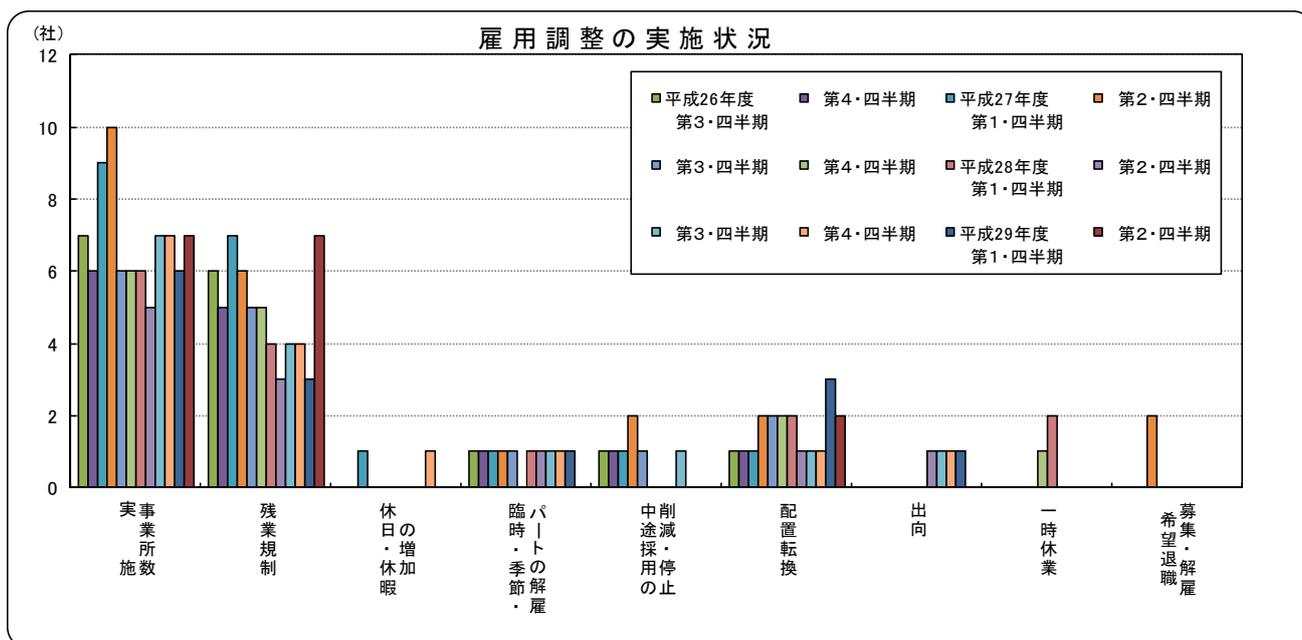
次期の見通しについては、D Iは▲25.9で、「不足」判断は減少の予想となっています。



【雇用調整の状況】

雇用調整を実施している事業所数は、今期は7事業所（13.2%）で、前期の6事業所（11.8%）から増加しました。

	合計	実施なし	予定あり	実施事業所数	残業規制	休日・休暇の増加	臨時・季節・パートの解雇	中途採用の削減・停止	配置転換	出向	一時休業	希望退職募集・解雇
平成26年度 第3・四半期	50	41	2	7	6	0	1	1	1	0	0	0
第4・四半期	47	38	3	6	5	0	1	1	1	0	0	0
平成27年度 第1・四半期	51	40	2	9	7	1	1	1	1	0	0	0
第2・四半期	51	40	1	10	6	0	1	2	2	0	0	2
第3・四半期	50	44	0	6	5	0	1	1	2	0	0	0
第4・四半期	52	45	1	6	5	0	0	0	2	0	1	0
平成28年度 第1・四半期	48	40	2	6	4	0	1	0	2	0	2	0
第2・四半期	52	44	3	5	3	0	1	0	1	1	0	0
第3・四半期	51	43	1	7	4	0	1	1	1	1	0	0
第4・四半期	53	45	1	7	4	1	1	0	1	1	0	0
平成29年度 第1・四半期	51	42	3	6	3	0	1	0	3	1	0	0
第2・四半期	53	45	1	7	7	0	0	0	2	0	0	0



<主なコメント>

- ・ 残業の削減、休日の増加を計画することで、従業員の不足感が増す恐れがある。 (建設業)
- ・ 人手不足感は強い。 (製造業)
- ・ 7月以降の受注は一段落するものとみられていたが、その後も受注は増加の見通し。
8月は盆休みがあり、設備導入のため、一時的に生産・販売とも減少するが9月以降設備能力が増大することで生産・販売・収益が増加する見通し。従業員の4勤2休制度の導入、新規設備の導入により操業度が増大する見通し。
直接人員が大幅に不足しているため、派遣料(派遣会社に支払う金額)の単価を上げて募集を図る。 (製造業)
- ・ 販売・出荷状況は僅かではあるが鈍化傾向にある。見通しとしては、これ以上悪化しないと考えており、特に生産調整など行うことなく在庫を積み増しする。収益は悪化、人件費が上昇しており利益を圧迫している。人手は不足気味。積極的に求人活動を実施するも反応が薄い(特に短時間パートなど)。最低賃金の上昇も見込まれるため、パート社員の時給ベースアップも検討し採用活動を維持していく。 (製造業)
- ・ 自動車メーカーからの受注は横ばい。退社による人員不足が続いている。 (製造業)
- ・ 夏物商品の出荷最盛期ながら、空梅雨と猛暑によりこの先の出荷変動が懸念される。在庫を細めに調整しながら生産する。 (製造業)
- ・ 農業機械は、受注・生産ともに需要期をむかえ堅調に推移している。 (製造業)
- ・ 短期間での離職者や転職者が増加傾向でかなり不足気味。現在期間契約社員を募集中。 (製造業)
- ・ 従業員数は現時点ではほぼ適正であるが、フル稼働になれば多少の不足感が出て、相当な時間外勤務も発生する可能性がある。 (製造業)
- ・ 今期は夏休みの期間であり繁忙期、次期は今年の伊勢志摩サミット効果の反動が出てくると思われる。 (宿泊業, 飲食サービス業)
- ・ 夏季賞与支給後の退職者が増加し、人材不足が続いている。 (医療, 福祉)